

冬山合宿日帰り編

伊達紋別岳・冬ルート（北西尾根コース）

- ・山行日 平成25年2月9日（土）
- ・山行形式 スノーシュー
- ・参加者 13名 CL西田(芳)
A班：L安田、藤木(た)、鈴木、西田(昌)、佐藤、斎藤
B班：L近藤、東海林、河村(キ)、川村(純)、津川、笹山
- ・コースタイム 8:00 伊達道の駅集合 → 8:30 登山口P到着 → 8:50 登山開始 →
9:45 とりつきに到着 → 10:30 トラバースに入る →
11:10 頂上到着(昼食) → 12:30 下山開始 → 13:30 登山口P到着

午前8時、伊達道の駅に集合。今年初顔合わせの人もいて、遅らばせながら、新年のあいさつを交わす。その後、3台の車に分乗し登山口Pに向かう。

8時50分、登山開始。私にとっては、1年振りのスノーシューのため、多少の不安もあったが、新雪のいい感触にすぐに馴染んだ。天気は、薄曇り。ゆるやかな林道をゆっくり進む。ちょうど谷間に当たり、風もなくとても穏やか。

しばらくすると、左手に馬頭観音の石碑が現れる。昔、農耕馬として働き、死んでいった馬を祀っているとのこと。人も馬もご苦労様でしたと、神聖な気持ちになる。「後ろも見て！！」の声に振り返ると、真っ青な海と伊達の街並みが太陽に照らされ、ぽっかりと現れていた。きれいさに思わず歓声を上げる。



9時45分、ゆるやかな登りが終わり、とりつきに到着。ここからは、きつい登りがしばらく続いた。

10時30分、きつい登りが終わり、頂上めざし、トラバースに入る。横風が強いが、波のような雪の造形と樹氷がとてもきれい。片側が急斜面のため、慎重に進む。視界が悪かったため、気が付かなかったが、見上げると、頂上に建つ鐘が見えてきた。あと一息。

11時10分、とうとう頂上に到着。風が強く寒い中、全員で



写真に収まる。

すぐに、少し下山し、風の無い場所にインディアンツェルトを設営、本日の食事処とする。あたたかいテントの中では、会話が暑く（裏返しの服に気づかなかった話やボタンのかけ間違いに気づかなかった話などで）楽しいひと時を過ごす。

お腹も満たされ、テントから出ると、なんと、青空が広がっており、伊達紋別岳頂上の美しい姿や夏山ルートの美しい稜線が現れていた。こんなすばらしい景色が見られて幸せ。白と青の世界、目に焼き付けました。しかし、これもつかの間10分程でまた見えなくなってしまった。

12時30分、下山開始。急な斜面をバランスを取りながら下って行く。途中、遊び心で、尻滑りもしてみた。童心に返り、とても楽しかった。

12時55分、とりつきに到着。ここからは、ゆるやかな下りのみなので、もう安心。下の方は晴れており、昭和新山に有珠山、洞爺湖、中島も見渡せた。



13時30分、全員無事に登山口に到着。

登り2時間20分、下り1時間

いい汗かいて、おいしい空気をいっぱい吸って、今日も一日お疲れ様でした！！

その後は、伊達弄月館で汗を流し、元気に帰路につきました。

記録 斎藤